

「HIBAKUSHA」を世界の共通語に

2015年の戦後・被爆70周年に向けて

世界をOWABIして歩き、

HIBAKUSHAの思いを伝えていきます。

世界100カ国に写真パネルを！

私たちは、日本人として、広島、長崎、そして福島で起きた核の悲劇が、どんな非人道的な結果をもたらしているかを知る責任があります。それを世界に伝える責任を果たすために、世界ヒバクシャ展は、写真パネル100セットを寄付などによって制作し、信頼できるグループに貸し出し、それぞれの国内で巡回展示してもらいます。国内では、独自の写真展を開催するとともに、市民グループだけでなく、寺院、教会、学校などでの写真展や、核のない世界を目指す人々をつなぐ対話の場などにも積極的に写真を貸し出します。

人類の“記憶遺産”と世界遺産のコラボ

人類の“記憶遺産”である世界ヒバクシャ展の写真と世界遺産とのコラボを通じて、世界中の人々に核被害の実相を広く伝え、一人ひとりが核のない平和な世界を創る主役となることを目指します。コラボは、今夏、京都（金閣寺、銀閣寺など）から始まります。

「HIBAKUSHA」にノーベル平和賞を！

言われなき差別や困窮の中を生きてきた世界各地のヒバクシャ。世界ヒバクシャ展は、写真を通じてその思いを世界に伝えながら、世界中のヒバクシャをつなぎ、ヒバクシャの思いを世界に届けるためのネットワークづくりに貢献します。そして、核のない世界を目指して自らの過酷な体験を伝えてきた「HIBAKUSHA」にノーベル平和賞が授与されることを目指します。

「OWABI」で世界の人たちと仲直り

イベント開催の際には、広島、長崎の悲劇を経験しながら、世界の核汚染や戦争などを止められなかったことを「OWABI」します。人類が地球や宇宙を汚し、自然や人々に哀しみ、憎しみ、苦しみを生み出したことを反省し、悔い改め、心から「OWABI」をして、世界から心のわだかまりをなくしたいのです。そして、「OWABI」だけでなく、アート、音楽、ダンスなど、子どもからお年寄りまで楽しめるイベントも世界各地で開催し、世界の人たちと仲直りして友だちになりたいのです。

NPO 法人世界ヒバクシャ展

〒152-0031 事務所目黒区中根 1-6-7 都立大マンション 603

TEL 03-3723-1004 携帯 080-3392-1110(森下) 080-3558-3369(安在)

メール hibakushaten@gmail.com